



長年の作業の後、酷使された解体リサイクル設備のロックシャフトは、MM-メタルSS-スチール 382によって修復されました。まず、シャフトに近接するフライホイールを取り外します。その後、シャフトの補修する場所を1mm程表面処理します。MM-メタルSS-スチール 382を塗布した後、理想の直径に機械加工しました。当然、傷ついたシャフトの交換は必要でしたが、新しいシャフトの購入・組み込みとなると、かなりの時間と費用が必要になってきます。